

【新課程用学習指導案様式】

地理歴史科・公民科 学習指導案（新課程用）について

1 学習指導案の例

例1（細案）

地理歴史科・公民科（科目名）学習指導案

指導者 ○○ ○○

- 1 日時及び場所 令和○○年○○月○○日（○曜日）第○限 ○○教室
- 2 学 級 ○年○組（○○科○類型） ○○名
- 3 使用教材 教科書「○○○○」（○○出版社） 補助教材「○○○○」（○○出版社）
- 4 単元名（題材名） *歴史領域科目及び公共・倫理については、小単元の名称としてもよい。
- 5 単元目標
 - (1) ○○○○などについて理解する。
 - (2) ○○○○する技能を身に付ける。
 - (3) ○○○○などを多面的・多角的に考察し、表現する。
 - (4) ○○○○について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 *目標に先立ち、単元観・教材観・生徒観を記してもよい。

「単元目標」については、単元で評価する観点に基づいて記述する。

6 単元計画（全体◆時間）

(1) 指導計画

- ・○○○○ ◆時間
- ・○○○○ ◆時間（本時◆/◆）
- ・○○○○ ◆時間
- ・○○○○ ◆時間

(2) 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・～などについて理解している。 ・～する技能を身に付けている。	・○○○○などを多面的・多角的に考察し、表現している。	・～について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

(3) 指導内容及び評価計画

（○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」）

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			学習活動における具体的な評価規準	評価方法
			知	思	態		
第1次 ◆	【学習課題】〈単元を貫く問い〉「なぜ○○は～なのか。」						
	・○○○○ ◆は配当時間	【ねらい】～に関して疑問を抱いたり課題を見つけたりして、学習の見通しを立てる。 ・○○○○……			●	・～について、～や～などの記述をしている。	・ワークシート、観察
第2次 ◆	【学習課題】〈問い〉「どうして○○は～なのか。」						
	・○○○○ 各時程における学習内容を記述する。	【ねらい】～について、～に着目して多面的・多角的に考察し、～を理解する。 ・○○○○……	●			・提示した資料を適切に比較し類似点・相違点などを記述している。	・ワークシート、観察
	・○○○○	・○○○○…… 各時程における学習活動を記述する。			●	・～について、具体的な事例を提示しながら記述している。	・ワークシート、観察

この欄については、「学習改善につなげる評価」のみ記述し、「評定に用いる評価」については、「(4)参照」と表記する。

【新課程用学習指導案様式】

次	学習内容	ねらい・学習活動	評価の観点			学習活動における 具体的な評価規準	評価方法
			知	思	態		
第3次 (◆)	【学習課題】<問い>「どうして〇〇は～なのか。」						
	・〇〇〇〇	【ねらい】～について、～に着目して多面的・多角的に考察し、～を理解する。 ・〇〇〇〇……		○		・(4)参照	・評価問題①
	・〇〇〇〇	・〇〇〇〇……	○			・(4)参照	・評価問題②
第4次 (◆)	・〇〇〇〇	【ねらい】～をまとめるとともに、「単元を貫く問い」への答えを、学習成果を踏まえて考え、学習を振り返る。 ・〇〇〇〇……			○	・(4)参照	・評価問題③

(4) 評価問題（評価材料）及び評価規準 *別紙にまとめる場合は省略してもよい。

評価問題①（ワークシートの設問）【思考・判断・表現】

・〇〇〇〇……

*評価問題や評価材料の内容を記入する。

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

・〇〇〇〇……

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

・〇〇〇〇……

「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援

・〇〇〇〇……

評価問題②（定期考査で出題）【知識・技能】

・〇〇〇〇……

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

・〇〇〇〇……

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

・〇〇〇〇……

「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援

・〇〇〇〇……

評価問題③（ワークシートの設問）【主体的に学習に取り組む態度】

・〇〇〇〇……

評価規準

「おおむね満足できる」状況（B）と判断される例

・〇〇〇〇……

「十分満足できる」状況（A）と判断される例

・〇〇〇〇……

「努力を要する」状況（C）と判断される例とその生徒への支援

・〇〇〇〇……

【新課程用学習指導案様式】

7 本時の目標

- (1) ～を基に，～を理解する。
- (2) ～を基に，～について構想する。

「単元の目標」や「単元の指導計画」を基に，本時で生徒が実現すべき項目に絞って記述する（1時間に1つが望ましい）。

8 本時の展開

（○…「評定に用いる評価」，●…「学習改善につなげる評価」）

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・項目を体言止めで記載する。 	<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師の活動を，学習活動と連動して具体的に記述する。 （例）「提示する」「発問する」「指摘する」「助言する」 ・学習形態，資料の取り扱いの観点などを記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・○○○○…………… ●発問，観察【知】
展開	<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の視点で活動を具体的に記述する。 ・予想される生徒の反応も記述する。 （例）「考察する」「記述する」「発表する」「調べる」 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動と連動した場面を設定し，観点及び方法を示す。 ・「評定に用いる評価」は，単元の指導計画に設定しているものがなければ記載する必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・○○○○…………… ・○○○○…………… ●ワークシート【思】
まとめ			<ul style="list-style-type: none"> ・○○○○…………… ・○○○○…………… ●発問，観察【態】

9 本時の評価規準及び学習支援

○○○○……………

10 御高評

①本時に「評定に用いる評価」の場面がある場合は，その評価規準を記述する（他の箇所に記載している場合は，「～参照」のように記述する）。
②「評定に用いる評価」の場面がない場合は，「本時の目標」を達成した生徒の具体的状況（姿）と，達成できなかった生徒への支援策を記述する。

例2（略案）

- 1 日時及び場所 平成○○年○○月○○日（○曜日）第○限 ○○教室
- 2 学 級 ○年○組（○○科○○類型）合計○○名
- 3 使用教材 教科書「○○○○」（○○出版社） 補助教材「○○○○」（○○出版社）
- 4 単元名（題材名） *歴史領域科目及び公共・倫理については、小単元の名称としてもよい。
- 5 単元目標
 - (1) ○○○○などについて理解する。
 - (2) ○○○○する技能を身に付ける。
 - (3) ○○○○などを多面的・多角的に考察し、表現する。
 - (4) ○○○○について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を養う。

「単元目標」については、単元で評価する観点に基づいて記述する。

- 6 単元計画(全体◆時間)
 - ・○○○○ ◆時間
 - ・○○○○ ◆時間（本時◆/◆）
 - ・○○○○ ◆時間
 - ・○○○○ ◆時間

- 7 本時の目標
 - (1) ～を基に、～を理解する。
 - (2) ～を基に、～について構想する。

「単元の目標」や「単元の指導計画」を基に、本時で生徒が実現すべき項目に絞って記述する（1つが望ましい）。

- 8 本時の展開 (○…「評定に用いる評価」、●…「学習改善につなげる評価」)

	学習内容	学習活動	指導上の留意点・評価
導入	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 項目を体言止めで記載する。 	<p>【指導上の留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師の活動を、学習活動と連動して具体的に記述する。 (例)「提示する」「発問する」「指摘する」「助言する」 学習形態、資料の取り扱いの観点などを記述する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○○○○…………… ●発問、観察【知】
展開	<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒の視点で活動を具体的に記述する。 予想される生徒の反応も記述する。 (例)「考察する」「記述する」「発表する」「調べる」 	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習活動と連動した場面を設定し、観点及び方法を示す。 「評定に用いる評価」は、単元の指導計画に設定しているものがなければ記載する必要はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○○○○…………… ○○○○…………… ●ワークシート【思】
まとめ			<ul style="list-style-type: none"> ○○○○…………… ○○○○…………… ●発問、観察【態】

- 9 本時の評価規準及び学習支援 ○○○○……………
 - ①本時に「評定に用いる評価」の場面がある場合は、その評価規準を記述する。
 - ②「評定に用いる評価」の場面がない場合は、「本時の目標」を達成した生徒の具体的状況（姿）と、達成できなかった生徒への支援策を記述する。

- 10 御高評

【新課程用学習指導案様式】

2 作成の意義

学習指導案は、授業の流れをまとめた「授業の設計図」であり、以下の目的で作成する。

- ・授業の目的をはっきりさせる。
- ・教材内容の理解を更に深める。
- ・生徒の実態を見直す機会にする。
- ・授業の目的を達成させるために、学習者に最適な指導法、発問、課題、支援等について検討し、授業展開を整理する。
- ・実践後、学習指導案と実際の授業展開について考える機会を設け、今後の指導に役立てる。

3 掲載する項目及び留意点

(1) 単元について

- ・歴史領域科目及び公共・倫理など大項目が単元（内容のまとまり）に指定されている科目について、学習指導案を作成する場合は、小単元（単元を細分化したもの）の学習指導案を作成してもよい。その場合、単元名についても小単元名とする。

(2) 単元目標

- ・学習指導要領の科目の目標や「内容のまとまりごとの評価規準」を念頭に、単元を通して生徒に達成させたい目標を具体的に記述する。
- ・文末表現は「～理解する」「～身に付ける」など生徒の立場で記述する。

(3) 指導内容及び評価計画

- ・「学習改善につなげる評価」(●)の評価規準は、生徒の学習状況を把握するための評価規準であり、ABC等の記録に残すための評価規準ではない。またこの評価規準に到達できなかった生徒の支援や教師の授業改善に重点を置く評価規準である。

(4) 本時の目標

- ・単元目標を念頭に、本時の学習を通して生徒に達成させたい目標を具体的に記述する。
- ・文末表現は「～理解する」「～身に付ける」など生徒の立場で記述する。

(5) 本時の展開

◇導入

- ・前時の内容の簡単な確認をする。
- ・生徒の興味・関心を高める話題を準備し、本時の授業展開につなげる。
- ・生徒が学習の見通しを立てやすい発問を設定する。

◇展開

- ・本時の目標を達成するための学習内容等について記述する。
- ・学習計画にゆとりをもたせ、生徒が思考力等を発揮するための時間を確保する。

◇まとめ

- ・本時の授業を振り返り、生徒自身が分かったことや疑問として残ったことについて確認する場面を設定する。
- ・生徒が次回の学習に向けての見通しを立てられるよう、学習内容の予告等を行う。

◇学習内容

- ・学習する内容や取り組む問題について記述する。

◇学習活動

- ・生徒の学習活動を具体的に記述する。
- ・予測される生徒の反応なども記述するとよい。
- ・文末表現は「～を説明する」「～読み取る」など生徒の立場で記述する。

【新課程用学習指導案様式】

◇指導上の留意点・評価

【指導上の留意点】

- ・本時の目標を達成するための具体的な指導や工夫などを記述する。
- ・生徒の誤解しやすいポイントや強調すべきことを記述する。
- ・予測される生徒の反応に対する教員の支援内容を記述する。
- ・文末は「～させる」「～を指導する」「～に留意する」など指導者の立場として記述する。

【評価】

- ・観点別学習状況の評価の3観点の評価する観点とその評価方法を記述する。

(6) 本時の評価規準

◇本時に「評定に用いる評価」の場面がある場合

- ・評価の観点及び評価材料、「おおむね満足できると判断される状況（B）」「十分満足できると判断される状況（A）」について具体的に記述する。また「努力を要すると判断される生徒への対応（C）」の欄には、「おおむね満足できると判断される状況（B）」に到達させるための支援策について具体的に記載する。
- ・文末表現は、生徒の立場で記述する。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
「～を理解している」	「～考察している」	「～追究しようとしている」
「～を身に付けている」	「～構想している」	「～追究・解決しようとしている」
「～調べまとめている」	「～説明している」	「～探究・解決しようとしている」

◇本時に「評定に用いる評価」の場面がない場合

- ・「本時の目標」を達成したと判断される評価規準と、達成できなかった生徒への支援方法を記述する。

(7) 御高評 授業を参観していただいた先生がコメントを記述するので、適切な行間を確保する。

(8) 添付資料

◇授業で使用するプリント

- ・生徒に配付するプリント（自作のワークシート）などがあれば資料として添付する。

◇教科書及び補助教材のコピー

- ・教科書及び補助教材については、著作権に配慮する。